

大学改革雑感：常識と良識



巻頭言

和田 成生*

Miscellaneous thoughts on university revolution
from common sense and good sense

Key Words : University, Society, Revolution, Common sense, Good sense

基礎工学研究科長・基礎工学部長を拝命して一年が過ぎた。部局を先導する立場になって何か夢のある話を書かなければと思いつつ、なかなか筆が進まない。社会の要請という大義のもとで、長年進められてきた大学改革に出口が見えず、少子化や財政問題も絡み閉塞感が漂う中で、次第に大学が疲弊してきているからかも知れない。本稿では、日頃なんとなくモヤモヤしている大学改革について、常識と良識の観点から雑感を述べることにする。

大学があまり外界のことを考えずに自由に教育と研究に専念できていた国立大学時代とは異なり、2004年の法人化以降、国からの予算配分が削減される中で、イノベーション創出から高度人材育成、グローバル化、財務改善、ダイバーシティ対応、働き方改革、ガバナンス強化まで、国や社会の要請に応えるための大学改革が進められてきた[1]。改革とは、固定観念を捨て、常識を変えていくことである。大学には大学の常識があり、社会には社会の常識が存在する。大学改革では、大学が主体的、主導的に改革を推進するように求められてはいるが、社会に開かれた大学の名のもと、より大きな社会に飲み込まれた大学からは、コペルニクスのように社会の常識を覆すような発信をすることは難しい。結局のところ、時代とともに変遷する社会の常識に合わせて、大学の改革が進められている。これで本当に

良いのであろうか。

「非常識」や「常識が無い」と言えば辛辣な言い方になるが、常識には根拠が無いものが多い。元々は根拠があったのかも知れないが、多数派となった途端に、「常識だから」という理由が成立してしまう恐ろしい代物である。デジタル化が進み、SNSが発達した現代社会においては特に注意が必要である。したがって、常識を基準にして、物事を判断するのは非常に危険である。一方、常識の上位に位置づけられる良識には、常識の根拠となる物事の本質を見極めて、偏りの無い正しい判断をすることが求められる[2]。そこには、倫理観や価値観を背景に、個々の社会や集団において存在する常識を統合し、より本質的で価値のある常識へと変えていく力がある。実は、国会においても、参議院には良識の府としての役割が課せられているが、その機能が果たされているかどうかは不明である。

自重自治の精神のもとで築き上げられてきた大学の常識、すなわち良識には、社会の常識を変えたり、先導したりする力がまだ十分に残っていると思う。しかし、良識がいつも正しいとは限らない。プロパガンダにより、間違った良識を常識に変えようとする連中はいつの時代でも登場する。良識の正しさは常識によって、常識の正しさは良識によって検証されるべきであろう。その意味で、大学が発信する良識は、将来的に社会の常識となり得るものでなければならない。しかし、大学がこの良識をどこまで本気に社会に届けようとしているのか、また、社会が真摯に耳を傾けてくれようとしているのか、国を介した大学改革の中では見えてこないところもどかしい。

大学改革に対するモヤモヤした違和感は、常識と良識の区別や、社会と大学での役割分担を考えずに、全てを同じ土俵に上げて一括りの大学改革が進めら



* Shigeo WADA

1963年10月生まれ
大阪大学 大学院基礎工学研究科博士後
期課程 物理系専攻機械工学分野
(1991年)
現在、大阪大学 大学院基礎工学研究科
教授・研究科長 工学博士
専門／バイオメカニクス
TEL : 06-6850-6170
E-mail : wada.shigeo.es@osaka-u.ac.jp

れてしまっているところにあると思う。常識と良識は必ずしも一致しておらず、常識に疑問を持てる知恵が良識となる。人種差別やジェンダー問題に対する対応は、先進社会において今や常識となりつつあるが、これは良識から生み出された常識であろう。変遷する社会の常識に従って大学改革が進められるならば、大学はこの良識を発信する役割を担うべきである。それができる大学改革こそ、社会も大学も両方が望む本当の改革では無いだろうか。

参考文献

- [1] 文部科学省「国立大学改革について」：
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houjin/1341970.htm
- [2] 三木清「哲学入門」：
https://www.aozora.gr.jp/cards/000218/files/43023_26592.html

